

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活援助Ⅲ(食事)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	12 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	202、203、実習室
担 当 教 員	中尾 優佳	実務経験とその関連資格	看護師 精神科病院にて、急性期病棟、慢性期病棟の勤務経験あり			
《科目目標》						
1)健康な人、健康になんらかの問題を抱えている人にとって、よりよい食事とは何かを学習する 2)栄養と食事のニーズを充足するための基礎知識と援助方法を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】 終講試験(30%)及び課題レポート+授業態度(5%)で総合的に評価する。 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ看護実践のための援助技術 メディカ出版 基礎・臨床看護技術 医学書院						
《授業外における学習方法》						
1)講義までにナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱの第2部5章をよく読み、わからない言葉や理解困難な内容を明確にしたうえで講義に臨む 2)事前に動画を視聴することで実践のイメージをつけて演習に臨む。						
《履修に当たっての留意点》						
1)講義までにナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱの第2部5章、6章をよく読み、わからない言葉や理解困難な内容を明確にしたうえで講義に臨む 2)事前に動画を視聴することで実践のイメージをつけて演習に臨む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 人にとって食事とは何か、その意義を理解する 2. 食事に関する生理学的メカニズムを理解する 3. 摂食嚥下の過程について理解できる	教科書 ワークシート	事前に教材を読んでわからない言葉や理解困難な内容を明確にしておく。	
		各コマにおける授業予定	1)生理的・心理的・社会的意味を知る 2)食事に関する生理学的メカニズム ①食欲 ②消化吸収 ③各臓器における消化吸収 3)嚥下のメカニズムについて			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 食事と栄養に関する基礎知識について理解できる 2. 食事・栄養に関する援助の実践が理解できる	教科書 ワークシート	事前に教材を読んでわからない言葉や理解困難な内容を明確にしておく。	
		各コマにおける授業予定	1)食事を阻害する要因について ①食欲②食行動③消化吸収排泄の観点から要因は何かを考える 2)栄養素・食事摂取基準・エネルギー栄養素の摂取基準 3)栄養状態のアセスメントについて 4)食事・栄養に関する援助の実践			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	食事行動に障害がある患者への基本的な食事介助の方法を実施することができる	教科書 ワークシート	事前に教材を読んでわからない言葉や理解困難な内容を明確にしておく。	
		各コマにおける授業予定	・模擬患者を設定し、食事全介助の実施 ・吸い飲み・ストロー、コップでの飲水介助の実施			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食・嚥下障害のある患者への援助の実践について理解できる	教科書 ワークシート	テキスト内の動画を視聴し、あらかじめイメージしておくこと。食事介助の援助計画を作成しておくこと	
		各コマにおける授業予定	・経口摂取が困難な状況について ・経管栄養の種類と留意点、注入の援助について			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	摂食・嚥下障害のある患者への援助を実施することができる	教科書 ワークシート	事前に教材を読んでわからない言葉や理解困難な内容を明確にしておく。	
		各コマにおける授業予定	・模擬患者を設定し、摂食・嚥下障害のある患者の食事介助の実施 ・自助具や、とろみ剤を使用して援助の実施			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	モデル人形での経鼻胃管カテーテル挿入と確認ができる	教科書 ワークシート	テキスト内の動画を視聴し、あらかじめイメージしておくこと。
		各コマに おける 授業予定	・モデル人形を用いて、経鼻胃管カテーテルの挿入		